

派 遣 報 告 書（報告者；穴見健吾）

大会名	令和6年度 九州中学校体育大会第54回九州中学校バスケットボール競技大会
開催地	玄海町社会体育館、ケーブルワン・スポーツパーク（武雄市民体育館）
日 時	令和6年8月3日（土）～5月（月）
担当ゲーム1	第一中（佐賀県） v s 折尾中（福岡県）
相手審判	CC：松永雄平 U1：穴見健吾 U2：中山好美
Pre-Game Conference	
☐ ベーシックなメカ ☐ 処置ミス0 ☐ 交代やタイムアウト後の出入りを素早く	
Post-Game Conference	
☐ ダブルコールになった場面はあったものの、各自が自分のプライマリを意識してレフェリングすることができた。 ☐ お互いの手の使い方について、試合の前半で基準を示せると良かった。	
担当ゲーム2	折尾中（福岡県） v s Togitsu Ablaze（長崎県）
相手審判	CC：川島司 U1：松浦由依 U2：穴見健吾
Pre-Game Conference	
☐ ベーシックなメカニクス ☐ プライマリの確認 ☐ ペイシェントとケイデンスの意識	
Post-Game Conference	
☐ タフな試合展開になった。ローテーションはもっと軽くても良かったのではないかな。 ☐ インサイドのプレイヤー同士のポジション取りやリバウンドを、どこまでがリーガルでどこからがイリーガルなのかの基準を、クルーでもっとコミュニケーションを取り、試合の中で示していけるとより締まったゲームになったのではないかな。	
今大会に参加しての感想など	
今回の九州中学では2試合の割り当てをいただき、大変勉強になりました。全中派遣のかかっている中、どの試合も緊張感のある試合となり、選手の一生懸命なプレーにこちらも緊張感をもってレフェリングに臨みました。試合の流れを意識してレフェリングすることやペイシェントとケイデンスに意識して取り組んだつもりでしたが、吹き急いでしまうケースが多く、大きな反省点として課題が残りました。また、走り方や立ち姿など「見られている」ことを意識してコート上での振る舞いを改善していきたいとも感じました。今大会を大きな経験として、これからも研鑽に励むとともに、県内にも還元できるよう取り組んでいきたいと思っています。 最後になりましたが、今回の派遣に際しまして、大分県バスケットボール協会の関係者の皆様をはじめ、職場、家族の理解と応援をいただきました。心よりお礼申し上げます。	